

## 平成29年度米子市美術館協議会議事録概要

開会（15：30）

岡文化課長挨拶

議題1 会長及び職務代理の選出

会長に高増佳子委員、職務代理に鐘築直子委員を選出

議題2 平成29年度米子市美術館事業報告について

（古川管理員が資料に沿って事業報告を行う。以下、補足。）

・平成29年度総入館者数は1月末時点で67,162人となっており、昨年同時期と比較して10,873人の増加でした。要因は、貸館委譲事業・主催事業とも入館者数が増加、主催事業の特別共催展「山下清展」では昨年の特別共催展と比べ会期が6日も長く、団体鑑賞の申し込みが2倍以上となった為（県外からの申し込みもあり）です。なかでも子どもや学生の鑑賞が多かったのが特徴でした。来館者のアンケートや声から学芸員による展示解説も追加開催いたしました。

・市展について、昨年から出品料を徴収し賞に賞金をつけました。2年目の今年は出品点数、出品人数は昨年より減少しましたが、入館者数は増加となりました。出品料徴収前との比較では出品点数、出品人数ともに増加となっており、賞に賞金をつけたことが、出品者の出品意欲に繋がりました。

・特別企画展Ⅰ「アール・ヌーヴォー ガラス工芸の美」井上幸夫・英子コレクション受贈記念では、受贈いただいた79点を一堂に展示、8,719人の入館者を集めました。このことが、今年度の主催事業の入館者が増加した大きな要因かと思えます。こちらも解説を追加開催し好評でした。

・常設展は2回開催、会期も38日間（19日×2）。昨年度は3回開催で、今年度は、開催数、会期日数ともに少ない中、入館者数は増加しました。常設展Ⅰでは、ミュージアムスクール刀剣講座と連動、刀剣への関心から入場者が例年に比べ多かったです。常設展Ⅱでは、近年実施している文化の日、関西文化の日を無料開放日とし、年々認知度が上がり無料開放日に人が集中しています。結果としてこちらも入場者の増加いたしました。

・ミュージアムスクールのワークショップは、例年、子どもさんが参加しやすく楽しめるイベントとして大変好評ですが、今年度は台風の接近のため中止となりました。参加予定者から中止を惜しむ声が多くあり、米子市文化財団フェスティバル（会場：児童文化センター）で開催しました。結果、多くの子どもさんに参加していただくことが出来ました。

・今後の予定として、開催中の米子美術家協会展が今週末の日曜（2/18）まで。25日からは共催展の望月氏によるインスタレーション展示 **Rock,Paper,Scissors** | 石 | 紙 | 鋏 | シンディー望月展を開催。3月4日には第4回ミュージアムスクール美術上映会を予定。上映会は年々参加者が増加、昨年より展示室を変更して対応いたしました。

・貸会場事業について、利用件数は昨年に比べ減少しました。これは主催事業が増え貸会場の展示室数が減少したため、年間のスケジュールとしては貸会場の予定は埋まっていました。結果、貸会場件数は減ったが入場者数は増加いたしました。以上で報告を終了いたします。

(高増会長) それでは、何か質問、ご意見ございましたらお願いします。

(鐘築委員) 団体鑑賞は学校関係が多いようですが、団体鑑賞の申し込みは美術館の方からの働きかけ等はされていますか。

(今副館長) 市内の小中学校には教育委員会を通して通知、また関係している大学にも通知している。鳥取大学には講師にでている関係で授業の一環で来ていただいている。様々なネットワークで来館の可能性のある団体には積極的に声かけをしている。また、貸館利用者にも周知を図っている。特に山下清展は、作風に感銘を受けられる方が多かったこともあり、例年以上に多くの団体鑑賞があり大変喜んでいきます。

(鐘築委員) 小中学校には、年間スケジュールを渡し学校から申し込む形ですか。

(今副館長) はい。山下清展は小学校の申し込みはありませんでしたが、中学校 3 校、幼稚園・保育園 5 園で、幼稚園・保育園は鑑賞時間を取りやすく、山下清展に限らず多くの園に利用していただいている。また、その際にチラシ等を持って帰ってもらい、子どもさんから家族の方に宣伝してもらうように取り組んでいます。

(鐘築委員) 中学校は美術部などの鑑賞ですか。学校や学年単位ではどうですか。

(今副館長) 美術部が中心です。学校や学年単位ですと、行き帰りや鑑賞時間の関係もあり山下展では成果がでなかったのですが、今後、相談させていただきいい形を考えていきたいと思っております。

(高増会長) 他には何かございませんか。

(湯原委員) 資料にはあまり書いてありませんが、出前事業について利用したい気持ちがあります。これまでどんな事をされたのか、お聞かせください。

(今副館長) 米子市美術館の沿革についての講義や、今年度は、延暦寺に辻晋堂の像が建立されている関係で講演を行いました。先方からの相談を受け、日程や講演内容を相談し

出前講座を行っています。また、特別展などの事前説明講演等も実施しています。

(中村館長) 特別展の事前案内説明会が多いです。

(湯原委員) 同好会で、出前授業の利用を考えているが、夜間の実施は可能ですか。

(中村館長) 相談したうえで検討したいと思います。

(高増会長) 他には何かございませんか？ご意見ありませんので、議題(3)の平成30年度事業計画について美術館から説明をお願いします。

### 議題3 平成30年度米子市美術館事業計画について

(今副館長が資料に沿って事業計画を説明を行う。以下、補足。)

・特別企画展Ⅱ「金畑実とゆかりの作家たち」は、今回の米子美協の展示・ビジュアル使用の金畑実とゆかりの作家を中心に更に掘り起こす企画として予定しております。

・特別共催展「アール・ヌーヴォーの華ミュシャ展」については、先日、企画会社とコレクターが説明会を実施。その時の資料添付しております。約400点の作品を展示予定で、チラシ・ポスターもまもなく完成です。関連事業も含めて企画中となっております。

・特別企画展Ⅰ「大山山麓の至宝」は、大山開山1300年祭にあわせ、県と大山開山1300年実行委員会、市、教育委員会、財団とで実施予定で、初の重要文化財等の公開を計画。文化庁、文化財研究所等の指導のもと進めています。

・共催展Ⅰ「米子市障がい者アート展」は、5回目ですが出品点数や入場者とも増加しており成果が出ています。

・共催展Ⅱ「鳥取県指定文化財展」では、新指定の文化財の公開を予定しております。

・教育普及事業の美術講演会については、ミュシャ展と大山開山1300年祭の2回を予定しております。

・資料収集事業・貸館事業・その他事業についてもこれまでどおり継続します。以上で、30年度事業計画の説明を終了いたします。

(高増会長) ありがとうございます。ただいまの内容について何かご意見、ご質問はございますか。

(鐘築委員) 学芸員の解説(ギャラリートーク)が好評で、追加開催されたとのことですが、30年度もぜひ開催してほしいと思います。職員の方も多忙かとは思いますが、毎週土曜開催等の具体案等はありませんか。

(今副館長) 参加者には好評ですが、ギャラリートークで大勢の方がいると、静かに鑑賞したい方は快く思われない。他の大きな美術館や博物館では無線で解説をしている館もあるようです。ギャラリートークの回数は少しでも増やす方向で検討したいが、先ほどの件や、最終日近くの土曜は通常利用の方も多く監視員を増員する必要も出てくるため、現状の体制で最善の方法を模索していきたいと思います。

(鐘築委員) ギャラリートークに参加したい方、参加したくない方ともに開催日が分かれば把握しやすいのではないのでしょうか。

(中村館長) ギャラリートークについては、必ず各展覧会のポスターやチラシに日時等を記載しています。

(鐘築委員) 大変かとは思いますが、開催数を増やす方向で考えていただければと思います。

(今副館長) ミュシャ展では、オープニングギャラリートークの他に 2 回の開催を予定しておりますのでご参加していただければと思います。

(高増会長) その他には何かございませんでしょうか。

(湯原委員) 貸館事業の展示の際に入口付近に生花が時々飾ってありますが、私はそれについて違和感があります。お祝の花を飾るのは民間の展示会場であれば何も思いませんが、公共の美術館という場所なので、皆さんはどう感じられますか。作品鑑賞より前に生花が目に入ってくるのが私はすごく気になります。

(松岡委員) 賛同者からのお祝いのお花です。ただ、贈られたものはどうしても飾ることになります。

(中村館長) 主催者に断りなく贈られるケースが多いです。そうなると、ほとんどが飾ることになります。

(湯原委員) 何とか、やめることはできないものか。自分の感覚なので、皆さんがどう感じられるかはわかりませんが。

(松岡委員) 私は、気になりませんが。

(今副館長) 貸館事業の説明の際に主催者には説明し理解していただいております。減ってはきていると思われる。特に来年度の美術館内の環境については文化庁や東京文化財研究所から厳しい指導を受けている。今後も美術館の性質上、環境調査等もある為、引き続き説明の上ご理解いただけるように努めていきたいと思っております。

(高増会長) その他には何かございますか。初めての参加の方もおられますが何かありませんか。

(金田委員) ギャラリートークについて、私自身が参加した時のことですが、沢山の人で、せつかくの作品説明も、見ることも聞くことも中途半端になったという記憶があります。同じような感覚を持たれている方は多いのでは？と、思います。イヤホンを利用して自分が気に入った作品の場所で説明も自由に聞くことが出来るような仕組みがあればよいのではと思います。

(今副館長) 米子美術館ではムーミン展で実施しました。やはり、大規模展覧会で予算がある場合に限定されてしまいます。あまり大きくない展示室で作品展示が多ければ混み合うので作品が見えない等の問題は出てきます。レクチャーという形でプロジェクター投影したものを紹介するなど、出来るだけ作品情報を提供できるようにしていきたい。補足ですが作品説明をつけることや、受付や事務室も近いので、解説希望があれば対応します。また、団体での鑑賞であれば日程調整のうえ、個別のご案内も可能です。

(松岡委員) イヤホンであっても、人気作品の前に集中するので同じ状況が生まれます。良いことがあれば、必ず悪いことはあります。妥協点を見つけることです。確かに、ギャラリートークは楽しいです。ただ、私は、ギャラリートークには行かないです。展示室の半分ぐらいが人で埋まるので。

(鐘築委員) イヤホン購入の検討はされてますでしょうか。

(今副館長) 大きな館は徐々に導入されてきていますが、予算が大きくなり難しいところです。

(鐘築委員) 米子市としての検討はどうでしょうか。

(岡課長) 予算が伴うことなので、金額面や規模の面などの検討も必要です。

(鐘築委員) 観光事業なども含めてですか。

(岡課長) 展覧会に予算を使いたいところもあるのですが、長期的には、検討する余地はあるのではないかと思います。ギャラリートークは個人的に好きですが、それを避けられる方もおられるので、バランスを取りながらと考えております。

(今副館長) スマホアプリを利用した解説システムもあるようなので、そのようなものを利用すれば予算もあまりかからないかもしれません。他館と情報を共有し良い点を取り入れて予算がかからない形を模索していきたいと思っています。

(高増会長) その他には何かございますか。ないようですので、これで全ての議題が終了いたしました。美術館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 (16:50)